

JAPAN

ENTLEMEN'S QUARTERLY

10

OCTOBER 2014
D.137
OYEN

RYAN GOSLING

犬とライアのクールな関係
男にとって犬とは何か

STYLE FILE

GIORGIO ARMANI
DIOR HOMME
BOTTEGA VENETA
DUNHILL
DIESEL BLACK GOLD

THE 21ST CENTURY'S GREATEST AIRPORT

21世紀最高の空港
ようこそ、おどろきのトバイへ

A New Era in Fashion

デジタル戦略からコミュニティまで

ファッションの発信力

Personal Order Suit from Brooks Brothers 並木裕太、ブルックス ブラザーズでオーダーする

アメリカで196年の歴史を誇るブルックス ブラザーズのパーソナルオーダーがいま、目利きの間で静かに話題となっている。『GQ』でもおなじみの並木裕太さんが、パーソナルオーダーを体感した。

Photos: Shinji Serizawa @ rooster, Shinsuke Kojima (still life) Hair & Make-up: EBI Text: Kei Takegawa



1 “個”を求める時代背景を受けて20年前に立ち上げたパーソナルオーダー。時代を切り拓いた名門老舗ならではの、出色は既製品の平均1割増に収めたアップチャージ、2〜3週間(インポート素材は約5週間)の納期を実現した態勢にある。ベースは正統なアメリカンクラシックからモダンを追求したタイプまで計5モデル。ボタン数やベント、ポケット、ラベルステッチといった仕様変更のみならず、体型補正にも対応。2 生地はウールの最高峰サクソウールをはじめ、世界のミルから250を揃える。毎シーズン8割方を入れ替えるというから圧巻だ。3 ボタンはメタルや白蝶貝、くすみなど。4 刺繍の名入れサービスも。

「会社を起こして今年、5周年を迎えたんです。そんな節目も影響したのかな」

こだわりのひとつだった長髪を切った並木さんは、スーツをオーダーするためにブルックス ブラザーズの門を叩いた理由を、そう切り出した。

「コンサルタント修業時代の服装にきめ細かなルールがありました。客を取るようになると、その反動でまさしく自由になっていった(笑)」

少々アクの強い佇まいは並木さんのスタイルとして認知されていく。しかしはたとする。ドクターシップ(士業)を名乗る職業に、はたして、今の自分はふさわしいのだろうか、と。

「世界で通用する服飾の基準値は厳然としてあるし、なにより身なりでなく、中身で勝負すべきだろうという結論にたどり着いたんです」

引越越しを機にほとんどの服を処分した。目が覚めるような真っ白なパンツ、色とりどりのシ

ャツ……。ワードローブを再構築するにあたりブルックス ブラザーズに白羽の矢を立てたのは、アメリカで育った並木さんにとって憧れの、ビジネスエリートとセットで語られる存在だったからだ。知人に勧められて観た海外ドラマ『スーツ』で、主人公が部下に語っていた言葉も背中を押したという。

「それはFirst impression might be the last——つまり、第一印象が悪ければ二度目はない、という意味です。そこでは、アンダーステートメントを旨とすべきです」

**ブルックス ブラザーズだからできた
きわめて優れたシステムだと思います**

並木さんは今回、ネイビーのシャドーストライプをピックアップ。現代的なシルエットの「リージェント」フィットの2ボタン仕様をオーダーした。

「その道のスペシャリストが膝突き合わせて、個々のニーズをくみ取った選択してくれる。これぞホスピタリティの極みですよ。とはいえ、ビジネスパーソンにとって許される時間は少ない。その点、ブルックス ブラザーズはシステムチックな態勢が整っていて、完成まで1カ月かからないんです。オーダーの醍醐味が味わえて、時間的なストレスも少ない。きわめて優れたシステムですね」

そうして数週間の後、スーツに袖を通した並木さんは想像以上のデキに感服するのだった。「やはりこの生地、この仕様を選んで正解でした。正統が香るパターンです。そして着心地がしなやかで、見栄えも巧みにモダン化されている。僕ら世代のカスタマーが増えているとスタッフの方がいっていましたが、大いにならずける」



世界に通用する モダンクラシック

ゴージャスな高めのリブナローベルに象徴される、スマートな「リージェント」をベースに本会場(¥3,000)、本開き切羽(¥3,000)、ピンループ(¥500)をオプションで追加。ネイビーのシャドーストライプをグラデーションで仕上げたカラーパレットからは、世界に通用する品物が揃う。スポンサードする湘南ベルマーレの本拠地、BMWスタジアム平塚にて。スーツ ¥98,500(¥92,000 本体価格+送料オプション代)、シャツ ¥12,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥6,000、ベルト ¥12,000、靴 ¥53,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

並木 裕太

フィールドマネージメント代表取締役
1977年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。ペンシルバニア大学ウオトン校でMBAを取得。2000年、マッキンゼー・アンド・カンパニー入社後、最年少で役員に就任。09年、フィールドマネージメントを設立。電機メーカー、航空会社、インターネット企業といった日本を代表する企業の経営コンサルタントを務める。

At a Lunch Meeting

品格がにじみ出るイエローのクラシックなクレストタイだが、白シャツに締めればランチミーティングに格好の華やかさも。



シャツ ¥14,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン) スーツはP195と同じ。

At a Conference

カジュアルなチェックシャツ×ニットタイの掛け合わせもトーンを揃えれば、ビジネスシーンにふさわしいVゾーンに。



シャツ ¥14,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン) スーツはP195と同じ。

New Styling Ideas

オーダーだけじゃない、ブルックス ブラザーズの秋冬新作スーツ4

アメリカントラディショナルが一過性のトレンドとして語られる存在ではなくなったいま、ブルックス ブラザーズをチェックすれば確かな旬がつかめる。

1

Navy
Pinstripe



多色使いのタイで 若々しさをアピール

ウエストをほどよく絞った現代的なシルエットを有する「リージェント」のスリーピース・モデル。コントラストが強く、ワイドにとったピンストライプのスーツにマルチカラーのレップタイを締めれば、やや明るいめのネイビーというトーンと相まってクラシックで、じつに若々しいスタイルが完成する。スーツ ¥130,000、シャツ ¥14,000、タイ ¥13,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

2

Gray
Windowpane



パワースタイルの アップデート

モダンなシルエットで近年とみに支持を集める「フィッツジェラルド」。プレステージライン「ゴールデンフリース」の一番で袖付け、アームホール、ボタンホール、上襟を手で仕上げている。生地もサクソノウール最高峰のサクソノ・リザーブを採用。レッドタイで正統、かつ力強く。スーツ ¥240,000(9月末展開予定)、シャツ ¥12,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

3

Blue
Glen Plaid



立体的なVゾーンで モダンに拍車をかける

1960年代のアーカイブにインスパイアされた、ナローな襟、短めの袖丈、ソフトなショルダーラインを特徴とする「ミラノ」。トレンドのブルーを同色で仕上げたグレンブレードがモダンだ。遠目無地に見えるマイクロスクエアのタイ×クレリックシャツがVゾーンに艶やかな立体感をもたらす。スーツ ¥160,000(9月末展開予定)、シャツ ¥12,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

4

Navy
Sharkskin



粋な男を演出する 遊び心のあるVゾーン

「フィッツジェラルド」のなかでも定番人気の地位を獲得した、シャークスキンのウールをまとった一着。独特の織り柄は、それだけで格好のアクセントになる。ロンドストライプのボタンドウンシャツにクレストタイ。遊び心も感じさせるトラディショナルなVゾーンが粋な男をさりげなく演出する。スーツ ¥95,000、シャツ ¥12,000、タイ ¥11,000、ポケットチーフ ¥5,000(すべてBrooks Brothers/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

Brooks Brothers 大丸東京店9月10日 ニューオープン。
東京都千代田区丸の内1-9-1大丸東京店8F ☎03-3212-8011 (代表)

●お問い合わせ先:ブルックス ブラザーズ ジャパン ☎03-3403-4990 GQ JAPAN 197